# 日本学術会議公開シンポジウム

主催:日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同フロンティア人工物分科会

後援:特定非営利活動法人安全工学会
—般社团法人可視化情報学会
—般社团法人日本応用数理学会
日本海洋政策学会
—般社团法人日本機械学会
公益社团法人日本金属学会
公益社团法人日本航海学会
公益社团法人日本工学会

(後援) 一般社団法人日本鋼構造協会 公益社団法人日本材料学会 一般社団法人日本シミュレーション学会 公益社団法人日本船舶海洋工学会 一般社団法人日本塑性加工学会 一般社団法人日本鉄鋼協会 公益社団法人日本天文学会 一般社団法人日本下文学会 (後援) 日本マイクログラビティ応用学会
公益社団法人日本マリンエンジニアリング学会
公益社団法人日本冷凍空調学会
日本惑星科学会
一般社団法人表面技術協会
一般社団法人ブラズマ・核融合学会
一般社団法人溶接学会
「総賛:公益社団法人消費学会
一般社団法人が引用自動制御学会
一般社団法人システム制御情報学会

# 宇宙・空・海-フロンティア人工物科学シンポジウム

### 開催趣旨:

宇宙・空・海は、人間活動が展開される社会に有益なフロンティアであり、その利用技術開発と科学的解明のためのシステムが、フロンティア人工物である。国際的かつ学際的な巨大複雑系であるフロンティア人工物について、社会技術としての新技術開発、社会実装のための科学的アプローチ及び人材育成の観点から議論する。



# 開催日/令和元年 11月 29日(金) 13:00~17:00

会 場/日本学術会議講堂 東京都港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線乃木坂駅 5番出口

# プログラム

13:00 分科会長趣旨説明

大和 裕幸 (日本学術会議連携会員、海上・港湾・航空技術研究所 理事長)

13:20 挨拶 - 我が国科学技術の今後とフロンティア人工物 -

上山 隆大 (総合科学技術・イノベーション会議常勤議員)

13:30 セッション1:無人化・知能化する社会技術としての AI (Autonomous Intelligence)

大岩 寛 (産業技術総合研究所サイバーフィジカルセキュリティ研究センター)

ソフトウェア品質保証研究チーム 研究チーム長)

丸山宏 (株式会社 Preferred Networks 最高戦略責任者)

14:30-14:40 (休憩)

14:40 セッション2:科学技術政策に求められる方法論

稗方 和夫 (東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授)

竹森 祐樹 (日本政策投資銀行企業金融第2部課長兼航空宇宙室長)

15:40 セッション3:これからの科学技術を担う人材育成について

(司会) 鈴木 真二 (日本学術会議連携会員、東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授)

(パネラー) 海野 光行 (日本財団 常務理事)

大坪 新一郎 (国土交通省海事局長)

中須賀 真一(東京大学 大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻航空宇宙システム学講座 教授)

袴田 武史 (ispace CEO)

17:00 閉会

# 申し込み方法

参加ご希望の方は、下記URLからお申込みください。 お問合せ先 フロンティア人工物分科会拡大幹事会 frontier@m.mpat.go.jp 申込先URL https://forms.gle/TqdQhcKEjJehPXuy8

## セッション1

無人化・知能化する社会技術とし ての AI(Autonomous Intelligence)

AI によって無人化・知能化するフロンティア人工物に関する技術とその実装に向けた課題と取り組みや、学習するAI を実装する社会技術システムの品質保証がどうあるべきか、世界動向を踏まえて議論する。

### セッション 2

科学技術政策に求められる方法論

新たな科学技術を社会実装するために、 国際連携を効率的に取り入れながら (Collaboration and Competition)、 効率的に研究開発から社会実装までの プロジェクトを遂行すれば良いか、「ま だ経験していないもの」を評価するた めの大型ファシリティの維持・管理の 方法論(IT 技術士などの人材育成も含 む)や、科学技術政策論を議論する。

### セッション3

これからの科学技術を担う人材育 成について

巨大で複雑な社会技術システムを構築 するために、マルチステイクホルダー の対話と議論をとりまとめ、世界でリー ダーシップを発揮する人材を養う教育 システムについて、大学・研究機関・ 企業の連携による教育基盤の確立、ミ ドルキャリアの社会人育成も含めたあ り方や、社会の知の中継地点としての 未来の大学像等を議論する。